

# 上宮寺通信

第七十七号

## こころは蛇蝎の「じゃかつ」

国内外で様々な出来事が起きた二〇二四年が終わり新しい年となりました。二〇二五年は平穩で平和な一年であることを切に願います。

さて、今年は干支でいうと巳年、へビ年です。個人的には遭遇したくない生き物の筆頭です(笑)。見るだけでゾツとするのに、最近は爬虫類ブームということもありペットとして飼っている人もいます。

また世界には食用としてへビを好む人もいろいろしく、雅樂で演奏される舞樂「還城樂」はへビを捕まえて喜ぶ西域の人をあらわしているといわれています。(住職も舞ったことがあります)

す)

そんなへビですが、大方あまり良いイメージを持たれることのない生き物です。親鸞聖人もご自身で作られた『正像末和讃』の中で「悪性さらにやめがたしこころは蛇蝎(じゃかつ)のごとくなり」(この身に備わった悪い性は消そうと思っても消えるものではなく、私の心はまるで毒を持っているようだ)と「蛇」を良い意味では書かれていません。

「蛇蝎」とは熟語(※)にもなっており「人が恐れ嫌うもの」という意味があります。蛇蝎の「蛇」とはもちろんへビのこと。「蝎」とはもちろんへビのこと。蛇蝎の「蝎」とはサソリのことといわれていますが、キクイムシを指すともいわれています。

キクイムシとはその名の通り木を食べる虫で、穴を掘りながら木を食べるそうです。ですからキクイムシに食べられてしまうと外見はそのままに見えても中はスカスカになってしまいうのです。

親鸞聖人は消そうと思っても次々と沸き起こってくる煩惱は音もなく不意にやってくるへビのようなもので、私の外面は立派でも中身はキクイムシに食べられたように空洞だといわれるのです。

ばかりいるのが私です。

消そうと思っても消せない「蛇蝎」のような煩惱の心ですが、その煩惱の身のままに救うとお誓いくださったのが阿弥陀仏です。阿弥陀仏のお心がお念仏となって私に届いています。今年も念仏申す一年にしたいです。

※一般的な熟語としては「だかつ」と読みますが、親鸞聖人のご和讃では「じゃかつ」と読まれています。



舞樂「還城樂」

◆行事案内

上宮寺の年間行事予定

3月8日(土)

春のお彼岸・永代経法要

法話：林 祥真師(一宮市禮讃寺)

8月13日(水)・14日(木)

お盆(盂蘭盆会) 法要

9月8日(月)

秋のお彼岸・永代経法要

法話：名和正真師(清須市久證寺)

11月8日(土)

報恩講

法話：伊奈祐諦師(西尾市安楽寺)

◆話題あれこれ

○上宮寺の年間行事予定を上  
に挙げておきました。社会状  
況の変化などで変更もしくは  
中止にする場合もあります  
が、どうかご予定いただきま  
すようお願いいたします。ま  
た、その他にも行事を企画し  
ましたら、その都度ご案内い  
たします。



○ホームページ、公式LINE  
もよろしく願います。



ホームページ



公式LINE

○年忌法要の予定がございま  
したら早めにご連絡をいただきま  
すようお願いいたします。  
令和7年に年忌が当たる年の没  
年は次の通りです。

- 一周忌(令和6年)
  - 3回忌(令和5年)
  - 7回忌(平成31年・令和元年)
  - 13回忌(平成25年)
  - 17回忌(平成21年)
  - 23回忌(平成15年)
  - 27回忌(平成11年)
  - 33回忌(平成5年)
  - 37回忌(昭和64年・平成元年)
  - 43回忌(昭和58年)
  - 47回忌(昭和54年)
  - 50回忌(昭和51年)
- カッコ内が没年です。

○インフルエンザが流行ってい  
ます。感染力が強いそうなので、  
お気をつけてお過ごしくださ  
い。

【雑感】

我が家では長女が今年、成人  
式を迎えます。いまは昔と違っ  
て式典だけではなく様々なイベ  
ントがあり、昭和区ではアトラ  
クションのほか、恩師との交流  
タイムもあるようです。私が成  
人式を迎えたのは36年前。ちょ  
うど昭和天皇が崩御された直後  
でした。前年からの自粛ムード  
もあり、市の成人式は中止、区  
の成人式もお祝いムード一色で  
はなかったような気がします。  
ただ、成人式で何が行われたの  
かが全く記憶になく、小中学校  
の友人と久々に再会したことし  
か覚えていません。成人式ある  
あるですね。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052-871-0547